

浜通り地域等の産業基盤を構築する国家プロジェクト

福島イノベーション・コースト構想 拠点マップ

「福島イノベーション・コースト構想」とは

福島イノベーション・コースト構想とは、東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するために、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトです。「廃炉」「ロボット・ドローン」「エネルギー・環境・リサイクル」「農林水産業」「医療関連」「航空宇宙」の各分野の具体化を進めるとともに、その実現に向けた「産業集積」や「人材育成」「交流人口の拡大」「情報発信」など多岐にわたる環境整備に取り組んでいます。

福島イノベーション・コースト構想に関する詳しい情報は
<https://www.fipo.or.jp>



Googleマップ

拠点マップデジタル版はこちら



世界に類を見ない大開発実証拠点

福島ロボットテストフィールド/福島ロボットテストフィールド 浪江滑走路
 Fukushima Robot Test Field / Fukushima Robot Test Field - Namie Airstrip

一般の方 0244-26-3431 (受付時間 9:00~17:00) | フィールド施設使用を予定 0244-25-2476 (受付時間 9:00~17:00)
 見学について メールでの予約: robot.info@fipo.or.jp | メールでの予約: robot3@fipo.or.jp



世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指す

福島国際研究教育機構 (F-REI)

F-REI (Fukushima Institute for Research, Education and Innovation) は、福島をはじめ東北の復興を実現するための夢と希望となることを目指し、2023年4月に国が設立した特殊法人です。福島の優位性を発揮できる5つの研究分野において、福島と世界の課題解決に向けた研究開発等に取り組んでいます。そして、研究成果を広く波及させ、日本の科学技術力や産業競争力の強化をリードし、経済成長や国民生活の向上に貢献する、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指しています。現在、2030年度までの全面開所を目指し、浪江駅西側に施設整備が進んでいます。

世界トップ水準の研究開発を実施
5つの研究分野

- ロボット
- 農林水産業
- エネルギー
- 放射線科学・創薬医療
- 原子力災害に関するデータや知見の集積・発信



複合災害の記録と教訓を将来へ引き継ぐ

東日本大震災・原子力災害伝承館
 The Great East Japan Earthquake and Nuclear Disaster Memorial Museum

福島県が経験した地震・津波及び原子力災害という未曾有の複合災害の経験と教訓を後世に継承し、国内外に発信する施設です。被災地で収集した資料を保存し、展示するとともに、語り部の講話や、双葉町と浪江町沿岸部の被災地を巡るフィールドワークなどの研修プログラムを提供しています。さらに防災や復興に関する研究活動にも力を入れています。



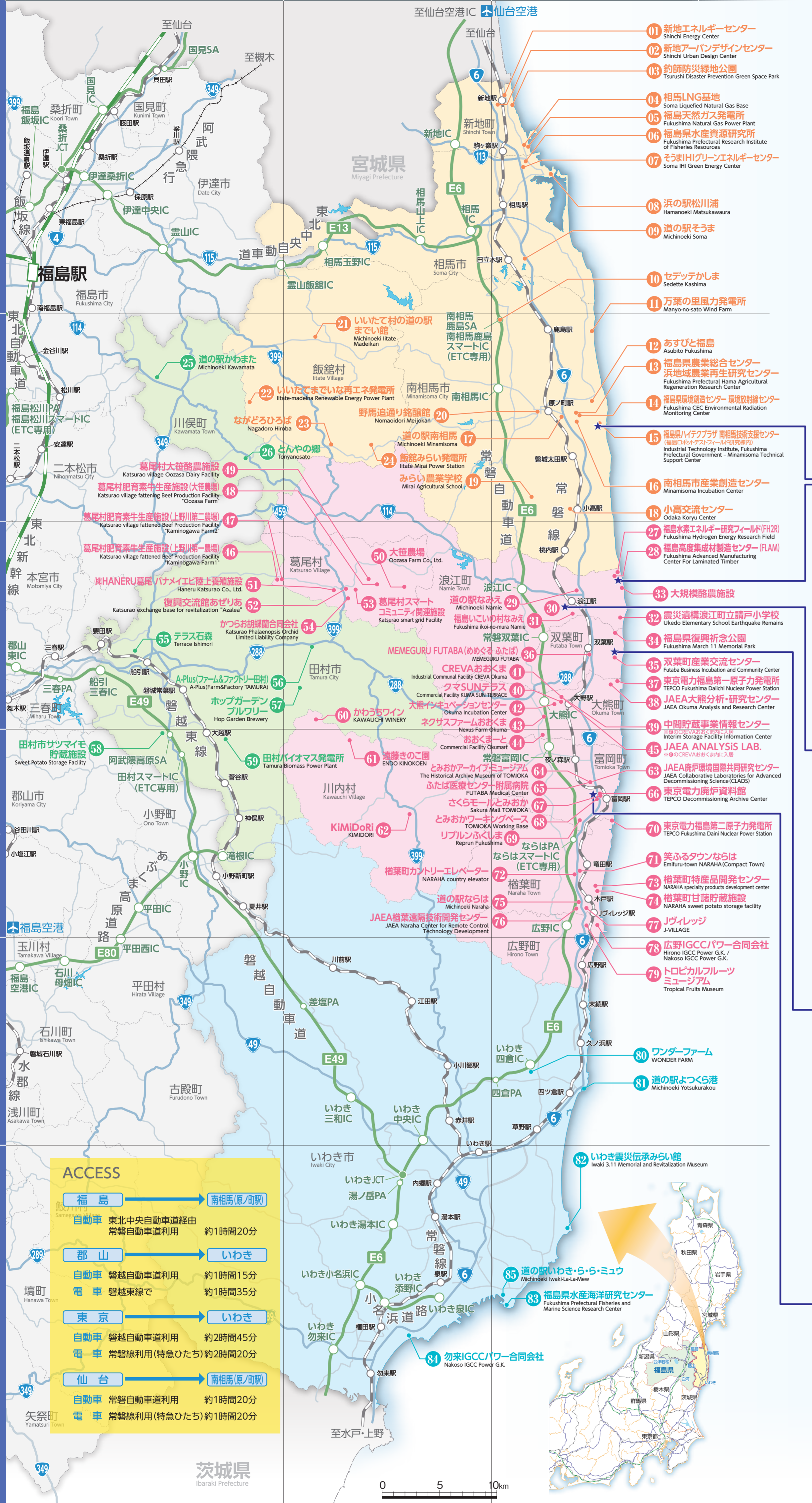
12市町村への移住・定住を促進

ふくしま12市町村移住支援センター
 Fukushima 12 municipalities Relocation Support Center

東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難指示等の対象となった12市町村への移住・定住を促進するため、2021年7月1日に福島県が設置しました。広域連携や12市町村による移住施策の支援等を目的として、様々な事業を実施しています。



各市町村相談窓口の詳細は裏面へ



ACCESS

- 福島 → 南相馬(原/町駅)
 - 自動車 東北中央自動車道経由 常磐自動車道利用 約1時間20分
- 郡山 → いわき
 - 自動車 磐越自動車道利用 約1時間15分
 - 電車 磐越東線で 約1時間35分
- 東京 → いわき
 - 自動車 磐越自動車道利用 約2時間45分
 - 電車 常磐線利用(特急ひたち) 約2時間20分
- 仙台 → 南相馬(原/町駅)
 - 自動車 常磐自動車道利用 約1時間20分
 - 電車 常磐線利用(特急ひたち) 約1時間20分

浜通り地域等15市町村の見どころ

<p>新地町</p> <p>新地町と宮城県丸森町の間に位置する鹿狼山は日本一早い山開き、四季を通して山歩きが楽しめる。鹿狼山山頂登山は、初日の出が絶景です。</p>	<p>南相馬市</p> <p>毎年5月末に開催される相馬野馬追。豪華絢爛で勇壮な戦国絵巻を体感することができます。</p>	<p>川俣町</p> <p>美しい自然と豊かな風土に恵まれ、古くから「絹の里」と呼ばれてきた川俣。その始まりは遠く平安時代とされています。</p>	<p>浪江町</p> <p>請戸漁港では、ヒラメやしらす、ホッキ貝など海の幸が水揚げされています。また、350年以上の歴史を持つ伝統的工芸品「大塚相馬焼」が有名です。</p>	<p>大熊町</p> <p>大川地区に広がる復興拠点の整備が進められています。「link」の大型は復興を目的につくられた交流施設で約20アールのひまわり畑は人気のスポットとなっています。</p>	<p>川内村</p> <p>福島の水3割にも選ばれているいわなの生良地「千鶴川」。気候は年間を通じて比較的温暖で、北関東地方とほとんど同様に太平洋側気候です。</p>	<p>檜葉町</p> <p>首都圏からのアクセスの良さや海、山、川が程よい距離にあるため、一日で周遊できる利便性が魅力です。</p>	<p>いわき市</p> <p>製造業を中心とした工業都市として発展するほか、温泉やレジャー施設には観光客が訪れています。震災後は小浜道路などが整備され市民の生活と経済を支えています。</p>
<p>相馬市</p> <p>相馬市は、太平洋に面した自然豊かな街です。国指定重要無形民俗文化財「相馬野馬追」で知られる城下町。農業や漁業が盛んなほか、工業団地や港も整備されています。</p>	<p>飯館村</p> <p>福島市内から車で約1時間。飯館村は、阿武隈山系北部の標高400mの高原に開けた美しい自然に囲まれた村です。</p>	<p>田村市</p> <p>阿武隈高原の豊かな自然環境に恵まれた田村市は「地球の息吹」が感じられる場所「あぶくま鍾乳洞」が有名です。</p>	<p>双葉町</p> <p>双葉町は、江戸時代からの長い歴史をもつ新倉の個性行事です。双葉ダルの販売をはじめ、恒例の子供将神興や巨大ダルマ引きなどが催されます。</p>	<p>葛尾村</p> <p>阿武隈高原にある葛尾村は風力発電に適した土地で、巨大な風車が降りる景色は、自然の雄大さとクリーンエネルギーへの強い感動を感じることが出来るスポットです。</p>	<p>富岡町</p> <p>富岡町の誇りと矜持される夜の森桜並木は、樹齢100年以上のソメイヨシノが全長2.2キロの道に並んでいます。4月にはさくらも開花されます。</p>	<p>広野町</p> <p>温暖な気候で、(東北に春を告げる町)として知られています。豊かな自然と生活環境が魅力です。近年では気候を活かしたかんかん栽培にも注目が集まっています。</p>	

各拠点の情報は裏面をご覧ください

